

## キャノングローバル戦略研究所／外交・安全保障グループ 「PAC道場」

### 政治任用候補者 (Political Appointee Candidates: PAC) の募集について

Ver.1.0/2009.04.13

#### 「PAC道場」の趣旨と目的

キャノングローバル戦略研究所は、グローバル化の進む今日の世界を見据え、世界において日本がどうあるべきかという視点から現状を分析し、戦略的な提言を発信することを目的に設立されたシンクタンクです。当研究所に設置された「外交・安全保障グループ」では、日本の外交・安全保障分野における政策立案・実務能力を高めるための人材育成と、国民各層の外交・安全保障問題に対する理解を深める活動を推進してまいります。

私たちはこの目標を実現するために、2009年6月より「PAC道場」(外交安全保障分野における政策エキスパート育成の場・フォーラム)を設立します。PACとは、政治任用候補者 (Political Appointee Candidates) の頭文字です。

米国をはじめとする諸外国の政治システムでは、シンクタンク研究員、議会スタッフ、大学教授、企業経営者などが行政府の主要なポストに就き、政策決定の重要な責任を担っています。特に、米国では政権が交代するたびに、政府を支えるスタッフが大きく入れ替わります。一般にこうした現象は「回転ドア」(Revolving Door)と呼ばれていますが、この政・官・財・学の回転ドアが、米国における政策ダイナミズムを支えています。

これまで我が国では政権政党と官僚組織が政策形成・決定を事実上独占してきたため、「回転ドア」はほとんど存在しませんでした。しかし、現代の複雑な政治・経済情勢に対応するためには、これまでのような閉じたシステムの中での政策形成から、より広く優秀な人材を政策形成・決定に関与させる開かれたシステムへの変化が求められています。既に多くの中央官庁などでも多くの民間人が任期付きで採用されており、また、企業や大学との人事交流も盛んになっています。更に、昨今の公務員制度改革では「国家戦略スタッフ」、「政務スタッフ」制度の導入も検討されており、今後は非官僚の優秀な人材を政策の枢要なポストに登用する「政治任用官 (Political Appointee)」の需要がますます増大していくものと思われます。

以上を念頭に、当研究所では、我が国における外交・安全保障政策分野の「政治任用」を担えるようなエキスパートを育成するため「PAC道場」を開設いたします。この道場では、広く公募によって選ばれたPACに、米国防総省で長年採用されてきた「政策シミュレーション」(War Game / Crisis Simulation / Diplomatic Simulation)を用いて、様々な政策決定プロセスをバーチャル・リアリティの環境の中で実際に体験してもらいます。

シミュレーションで用いるシナリオは、米国防大学(National Defense University)の協力も得つつ、中東、東アジアなど現実の世界で生じ得る様々な危機を想定して作られます。このシミュレーションは、原則として年4回、完全匿名で実施され、現職政治家などの参加を得て、ゲーム形式により現実の世界で実際に起きている政策決定過程に限りなく近い状況が再現される予定です。このシミュレーションを通して、限られた時間の中で、外交・安全保障分野での政策決定をすることの難しさと緊張感を体験することにより、将来の政治任用官としてのスキルと心構えを備えた人材が育っていくことを期待しています。

将来の外交安全保障分野での政策決定を担う意欲をもった方々からの積極的なご応募をお待ちしています。

## PAC応募資格

---

### 【応募資格】

- ・年齢:25歳～43歳(2009年4月1日時点)
  - ・国際関係・政治・法律・行政のいずれかの分野で大学卒業以上の資格を有する方
  - ・PAC道場日程(第2次選考面接、オリエンテーション、外交・安全保障政策シミュレーション)に参加可能で、国際会議などでの自由討論に参加できるレベルの英語力を有する方
- 

### 【求める人材】

- ・募集人数:10名程度
  - ・将来、外交・安全保障分野で政治任用官(Political Appointee)として政府の中堅・幹部職に就き、国家の意思決定過程に積極的に参加することに関心がある方
  - ・自らのイデオロギーではなく、現実的な立場から国益・国際益を第一に考えることのできる方
- 

### 【応募要領】

- ①履歴書 和文・英文各1通 (Microsoft Word ファイル、形式は自由です)  
(選考結果の通知は応募者各個人に対して行いますので、5月以降連絡が取れる電話番号、メールアドレス(携帯電話のアドレスは不可)を明記してください)
- ②小論文(本文 1,600文字以内/ Microsoft Word ファイル)  
テーマ:「外交・安全保障分野における政治任用官としての心構え」  
日本の安全保障上の国益は何か、またそれを踏まえた上で政治任用官として政府に登用された際に、どのような意識を持って職務を果たすべきかについて、あなたの考えを書いてください。

\* 応募いただいた書類は個人情報保護法に基づき、厳正に管理いたします。また応募書類が当事業における審査以外の目的に使用されることはありません。

---

【宛先】 一般財団法人 キヤノングローバル戦略研究所  
外交・安全保障グループ 研究主幹 宮家 邦彦  
メールアドレス: [nationalsecurity@canon-igs.org](mailto:nationalsecurity@canon-igs.org)

---

【締切】 2009年5月8日必着

応募書類はメールでのみ受け付けます。ファックス、郵送はご遠慮ください。また、応募書類は返却いたしませんので、ご了承ください。

---

## **PAC道場日程(暫定)**

2009年

5月15日(金) 第1次選考(提出書類をもとに書類選考を行います)

5月18日(月) 応募者に対し選考結果を通知

5月22日(金) 第2次選考(集団面接) (当研究所にて夕刻を予定しております)

5月25日(月) 面接者に対し選考結果を通知

6月 5日(金) 第1回オリエンテーション (当研究所にて午後6時~9時を予定しております)

6月12日(金) 第2回オリエンテーション (同上)

6月26日(金) 第3回オリエンテーション (同上)

7月4日(土)~5日(日) 第一回「外交・安全保障 政策シミュレーション」  
(都内の研修施設において、1泊2日にて実施いたします)

7月中旬にレビュー会合を実施いたします。

第二回目以降のシミュレーションの日程については6月に決定いたします。

## **参加費用等について**

PAC道場への参加費用は無料です。また、「外交・安全保障 政策シミュレーション」にかかる宿泊費・食費・資料費、「オリエンテーション」の食費・教材費・資料費などは、全てキャノングローバル戦略研究所が負担いたします。但し、第2次選考(面接)、各オリエンテーション、及び「外交・安全保障 政策シミュレーション」に参加する際の交通費については、各自の負担といたします。

PAC道場は外交・安全保障分野の各関連部門への将来的な任用を約束するものではありません。

その他、本件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

一般財団法人 キャノングローバル戦略研究所  
外交・安全保障グループ 研究主幹 宮家 邦彦  
メールアドレス: [nationalsecurity@canon-igs.org](mailto:nationalsecurity@canon-igs.org)